

2024 年 度

世 界 史 B

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙の決められた箇所に記入してください。
記号で答えられるものは記号で記入してください。
3. 試験開始後、解答用紙に氏名・受験番号を記入してください。
4. 試験問題はこの冊子の1～10ページに記載されています。
問題冊子の白紙部分は、メモとして使用して構いません。
5. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 次の文章を読んで、文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句を記入し、下線部(1)～(5)に対応する問 1 ～ 5 に答えなさい。

人類の経済生活に多大な変化をもたらした産業革命は、18世紀後半にイギリスから始まったとされる。しかし、それがなぜイギリスで起こったのかという原因を考えると、そこへとつながる変化は以前から始まっていたとみるのが妥当であろう。

まず、イギリスでは、中世からヨーロッパ域内の地域間交易や 工業や商業が拡大し、経済の発展や富の蓄積がすでに起こり始めていた。燃料需要増大で森林が枯渇して の燃料利用が進んだり、 工業発展に伴い放牧地需要が拡大した結果、共有地や開放耕地を垣根で画して私有牧地化しようとする という動きが起こったりと、農業、工業双方で国内産業構造も変化してきていた。

その後、17世紀に起こったピューリタン革命と名誉革命を経て、イギリスでは立憲君主制と議会の優位が確立する。これにより、議会と国王の関係が安定し、債務支払いに議会の保証を付けられるようになったことで、政府の財政基盤は強化され戦費の調達が可能になった。この結果、イギリスは大航海時代以降のヨーロッパ商業の地理的拡大の中で展開された他国との植民地をめぐる争いでも優位に立った。この恩恵を受け、18世紀に入るとイギリスは大西洋をまたぐ植民地や海外市場との交易からさらに大きな利益を上げるようになっていった。

しかし、海外交易の拡大はイギリスの経済にとって利益が大きかった一方で、国内産業にとっては、それは海外商品との競争も引き起こしかねない変化でもあった。たとえば、インド産 が国内で流行し、旧来の 産業を圧迫して、1700年には国富の流出を危惧して 禁止令が出されるほどであった。国富増加と財政安定のため、国家が経済に介入すべきとする重商主義者と、むしろ国家は商業に介入すべきでないとする自由放任主義に立ち、のちに近代経済学の祖と言われた の間で議論があったのもこの時代である。

だが、この 流行に対してイギリスの産業界が輸入品の国産代替をしようとして行った継続的な技術革新こそが、産業革命へとつながることになった。織布工程の生産性を上げるために が開発した飛び杼は、生産性向上とともに

に糸の不足を生んだが、その解消を目指した技術開発は紡績機⁽⁵⁾における一連の技術革新につながった。紡績機の高品質な綿糸を大量使用できるようになったことを受け、 が発明した力織機の導入がなされるなど、製糸工程と織布工程が刺激しあいながら相互に技術革新が展開された。

他方で、18世紀前半には、 業の周辺でも変化が起きていた。ダービー親子により 製鉄法が開発されると、製鉄に を利用するようになり、 需要が増えた。そんな中1710年ごろに発明家の によって開発され の採掘の際の排水に利用されていた蒸気機関によるポンプの仕組みが、1769年に によってさらに改良され、より広範な産業用の動力へと利用可能になったことで、各産業に飛躍的な生産力の増加がもたらされた。さらに、蒸気機関という動力のもたらす変化は交通にも変革の波を引き起こす。1807年には、アメリカ人の により、河川用の蒸気船が試作されてその後徐々に普及した。1814年になると、イギリスでもスティーヴンソンが実用的な蒸気機関車を製作し、1825年にはストックトン・ 間の鉄道において商用運用に成功する。

このように、産業革命は一度に起こったものではなく、長期にわたる農業、商工業の発展、技術革新など様々な連続した変化の集合体であったのである。

問1 革命当初、議会派の軍事指導者として活躍したクロムウェルは、革命の過程で国王を処刑し共和政イングランドを開いた後に、軍事独裁を開始したが、その際に彼が就任したイングランドの最高役職の名称を答えなさい。

問2 (a) 現在のイギリスの中央銀行であるイングランド銀行は、議会によって支払いを保証された戦時国債を引き受けさせる目的で設立されたが、それは何年のことであったか。

(b) 議会の信任を背景に、財源調達のための国債の信用力を高め、それを軍事力の強化につなげた、この時期のイギリスの国家としての在り方を何とというか。

問3 18世紀のイギリスとフランスの植民地争いの中で、大陸ヨーロッパにおける七年戦争の余波としてアメリカで戦われ、結果としてイギリスがフランス領だったルイジアナの一部とカナダを獲得することになった戦争の名称を答えなさい。

問4 (a) この交易においては、南北アメリカ大陸からはヨーロッパに農産物が、ヨーロッパからはアフリカに工業製品が、そしてアフリカからはアメリカに黒人奴隷が輸出されるという循環的な交易の構造が存在したが、これを一般に何と呼ぶか。

(b) このように貿易や植民活動が盛んになり一般にも身近になる中、未開地の無人島での生活と現地人との接触などをテーマにした小説『ロビンソン＝クルーソー』を書いたイギリスの作家の名前を答えなさい。

問5 紡績機の開発の流れについて次の説明の空欄 ・ にあてはまる人名を答えなさい。

1764年 ランカシャーのブラックバーン在住の大工の が、糸車を複数にしたジェニー紡績機を開発し、細糸の生産効率を上げるも、手紬ぎ職人の反発を受ける。

1769年 発明家のアークライトが、繊維業の都市ノッティンガムにおいて水力紡績機を開発、紡績作業の動力化に成功する。不足気味の太糸の生産効率を上げ、起業家としても成功を収める。

1779年 ランカシャーのボルトン在住の発明家の が、ミュール紡績機を開発する。これは、細糸に有利なジェニー紡績機と、太糸に有利な水力紡績機の長所を合わせもっていた。

Ⅱ 次の文章を読んで、文中の下線部(1)～(7)に対応する問1～7に答えなさい。

ウクライナという国家には、いくつもの「分断線」が走っている。しかも、それら⁽¹⁾の「分断線」は、地理的、社会的、政治的、宗教的、文化的と、様々な意味における「分断線」であり、現代ウクライナ国家はそうした「分断線」を一旦覆い隠した上で、統合を成し遂げてきている。

例えば、ウクライナは地理的には大きく三つに分けることができ、ロシア国境にも近いドニエプル(ドニプロ)川東岸地域、国の中央部を占めるドニエプル川西岸地域、そして、かつてはポーランド王国やハプスブルク帝国の支配を受けた、西部の⁽²⁾ガリツィアから成っている。

⁽³⁾宗派的状況も混沌としている。歴史上、主要なものだけを挙げても、三つの正教会と二つのカトリック教会の存在を挙げることができる。三つの正教会とは、モスクワ総主教座正教会とウクライナ独立正教会とキエフ(キーウ)総主教座正教会のことであり、対して二つのカトリック教会とは、合同教会とも称されるギリシア＝カトリック教会とローマ＝カトリック教会のことを指している。

モスクワ総主教座正教会は、17世紀以来、ロシア帝国とソ連時代を通じて連綿と存在してきた、ロシア正教会の下部組織に当たる教会で、説教もロシア語で行われるなど、事実上、⁽⁴⁾ロシア正教会と見なすことができる教会組織である。

ウクライナ独立正教会は、ウクライナ自体が独立を志した時期である1920年に、モスクワ総主教座に反旗を翻して成立した。ウクライナ西部に支持基盤を持ち、ナショナリスト的な傾向が強い宗派であるが、1930年代にボリシェヴィキ政権下で⁽⁵⁾廃止され、活動は地下に潜行した。1989年に合法的地位を獲得している。

最後のキエフ総主教座正教会は、1992年にモスクワ総主教座から分かれた比較的新しい教会だが、信徒数ではウクライナ最大を誇っている。典礼・説教は主にウクライナ語が用いられ、対外的には穏健な姿勢を取っている。

なお、ウクライナ独立正教会とキエフ総主教座正教会は、2018年に合併し、翌2019年にはそれが承認されている。

⁽⁶⁾ローマ教皇をトップに戴くローマ＝カトリック教会については、余分な説明は不要であろう。ここでは、あまり耳にする機会のないギリシア＝カトリック教会につ

いて見ておきたい。

ギリシア＝カトリック教会は、東方典礼(ビザンティンやスラヴの典礼)を用いながらも、教皇の首位権を認めるカトリック教会のことを言う。ウクライナ西部からポーランド、スロヴァキアにかけての地域で、多くの信者を有している。1596年の「ブレスト教会合同」で正教会とカトリック教会が「合同」することによって誕生した。

ウクライナ西部のガリツィア地方に根付いたギリシア＝カトリック教会と、ドニエプル川沿岸地域を拠点としたコサック⁽⁷⁾は、ともにウクライナ＝ナショナリズムを体現するアイコンとなっている。ただし、近世期、正教の庇護者を任じたコサックたちは、教会合同に対しては真っ向からの反対を唱える集団であった。元来は相反発していた東のコサックと西のギリシア＝カトリック教会を、ともに国家の偶像に据えざるを得ない点に、ウクライナの抱える「分断線」の深さが透けて見えるのである。

- 問1 (a) 後にキエフ公国となる国家の基礎を築いたオレーグ率いる一派は、何人であったと考えられているか。
- (b) 13世紀にキエフ公国を滅ぼした軍勢を率いていたのは誰か。
- (c) 1922年、ウクライナ共和国、ベラルーシ共和国、ソヴィエト＝ロシアとともにソヴィエト社会主義共和国連邦を結成した共和国はどこか。

- 問2 (a) 1772年の第1回ポーランド分割を、オーストリア、ロシアとともに行った国はどこか。
- (b) 1772年当時、(a)で解答した国の君主であったのは誰か。
- (c) 3度にわたるポーランド分割の結果、国家消滅の憂き目を見たポーランドが国家の独立を取り戻したのは、ある戦争の後のことであった。その戦争とは何か。

- 問3 (a) ガリツィアはユダヤ人が多く居住していた地域として有名だが、1918～1921年の内戦期のウクライナでも行われたユダヤ人に対する集団的な略奪や虐殺を、ロシア語由来の名称で何と呼ぶか。
- (b) 1940年に、クラクフ近郊にナチス＝ドイツによって建てられた絶滅収容所の所在地はどこか。
- (c) ガリツィアのリヴィウ近郊出身の国際法学者が提唱した「人道に対する罪」という新たな戦争犯罪の概念によって、ナチス＝ドイツの指導者たちの罪が問われた国際軍事法廷が開かれた都市はどこか。
- 問4 (a) キエフ公国がキリスト教に改宗し、ギリシア正教を国教化したのは何世紀のことか。
- (b) ギリシア正教への改宗を決断したキエフ大公とは誰か。
- (c) (b)のキエフ大公が妃として迎えたアンナの出身国はどこか。
- 問5 (a) スイスから帰国し、十月革命を指導したボリシェヴィキの指導者は誰か。
- (b) ボリシェヴィキ政権に反対する勢力が結成した反革命軍を総称して何と呼ぶか。
- (c) 第1次五カ年計画で推進され、1930年代半ばまでには完了した、ソ連の農業面での施策は何か。選択肢(あ)～(お)の中から最も適切なものを一つ選びなさい。
- (あ) 貿易の国家管理
- (い) 農業の集団化
- (う) 市場経済の導入
- (え) 富農層への支援
- (お) 不採算部門への補助金の充実

問6 次の文章(a)・(b)の空欄 と にあてはまる最も適切な語句を記入しなさい。

- (a) ローマ教皇がローマ＝カトリック教会の首位としての権威を確立していく一方で、ギリシア語を典礼用語とする正教会は、 市を核としながら発展していったこともあり、別名 教会とも称せられる。
- (b) 1978年に、ポーランド出身のヨハネ＝パウロ2世がローマ教皇に選出されたことは、カトリック国家ポーランドの共産党支配の正統性に少なからぬ影響を及ぼし、1980年以降の自主管理労組「 」の運動の追い風となった。

- 問7 (a) イヴァン4世からシベリア開発の許可を得たストロガノフ家に雇われ、シビル＝ハン国の首都を占領するなど、シベリア進出を進めたコサックの首領は誰か。
- (b) 1670～1671年の下層コサックと農民の大反乱を率い、1671年にモスクワで処刑されたコサック出身の反乱指導者は誰か。
- (c) エカチェリーナ2世の治世に、ピョートル3世を名乗り、農奴解放を宣言して支持を集め、蜂起を起こしたコサック出身の反乱指導者は誰か。

Ⅲ 次の文章を読んで、文中の空欄 ～ にあてはまる最も適切な語句を記入しなさい。また、下線部に対応する問に答えなさい。

北京の古代の名称は薊^{けい}、春秋時代は の国都だった。そののち遼代^{ばい}に陪都がたてられ、ここは 京とされたが、金は再びここを正式の都として中都とよび、元は大都と称した。

ここが北京となったのは、1421年、遷都を実行した明の 帝の時代にさかのぼる。1927年、首都が南京に移ったとき一時、北平^{ほくへい}の名が復活したが、1949年に中華人民共和国が成立すると首都に返り咲き、北京の名も復活する。

南京は、現在の江蘇省政府の所在地。清代の江寧府城の地で、三国時代の呉、東晋、宋、齊、梁、陳、南唐、明、 のいずれもがここに都をおいた。戦国時代の楚はここを金陵邑とし、秦は秣陵^{まつりょう}県、呉の孫権は建業としたが、その後、建康、金陵、江寧府などの名を経て、明代(1441年)には北京に対して南京となった。キリスト教を奉じる 軍の時代には、天京とよばれたこともあった。その後、1927年から1937年、1945年から1949年の間、国民党政府はここを首都とした。

(出典：21世紀研究会編『地名の世界地図』より引用。文章は一部改変)

問 (a) 金の統治体制について述べた次の文 y と z の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の(あ)～(え)から一つ選び、記号で答えなさい。

y 太祖完顔阿骨打は、女真族元来の軍事、社会組織である猛安・謀克を維持する一方、華北の漢民族に対してはそれまでの郡国制を継承する二重統治体制をとった。

z 太祖完顔阿骨打の命により契丹文字と漢字を参考にした女真文字が作られるなど、漢文化の影響を受けながらも女真族独自の文化を維持していた。

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (あ) y — 正 | z — 正 | (い) y — 正 | z — 誤 |
| (う) y — 誤 | z — 正 | (え) y — 誤 | z — 誤 |

(b) 元の統治体制について述べた次の文 y と z の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の(あ)～(え)から一つ選び、記号で答えなさい。

y フビライは中国の伝統的な官僚制度を採用し、科挙による人材登用も継続していたが、実質的な政策決定は主要官僚を独占したモンゴル人によって行われていた。

z 広大なモンゴル帝国の東西交易網にあって長距離商業が活発となる中、内陸部ではジャムチと呼ばれた交易陸路の安全、治安維持の仕組みが整備された。

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| (あ) y — 正 | z — 正 | (い) y — 正 | z — 誤 |
| (う) y — 誤 | z — 正 | (え) y — 誤 | z — 誤 |

Ⅳ 次の文章を読んで、文中の空欄 A ～ E にあてはまる最も適切な語句を記入しなさい。

現在のスペインの首都は A であるが、その南方70kmほどのところに、タホ川に臨む B という都市がある。ユネスコの世界遺産に登録されていることもあって、多くの観光客で賑わっている。 B には6世紀半ばに、ある王国の首都が置かれ、また、イスラームの支配下においても繁栄した。1570年代頃から、「ギリシア人」を意味する C での通称で知られるクレタ島出身の画家がこの地に定住し、彼の最高傑作とされる「オルガス伯の埋葬」などを残している。

フェリペ2世が宮廷を A に移してからは、事実上の首都として A が繁栄するようになる。新大陸からもたらされる富によって栄えた A は、文化面でも繁栄した。小説家 D の代表作である、時代錯誤の騎士 E がサンチョ＝パンサとくりひろげる滑稽物語『 E 』は A で出版された。宮廷画家ベラスケスの代表作「ラス＝メニーナス」も A の宮殿が舞台とされている。